

(職員向け)放課後等デイサービス自己評価表(まとめ)

R7, 3月

| | | チェック項目 | はい | どちらとも | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|-------------------------------|---|---|----|-------|-----|---|
| 環境 体制 整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | 施設を拡大したことにより、スペースの余裕を持って支援ができています。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | 各部屋に必ず支援者がいるよう心掛けている。また、個々の状態に応じて1対1対応もできている。 |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | | | ○ | 現在必要とする子がいない |
| 業務 改善 | ① | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか | ○ | | | |
| | ② | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | 、今までのところ要望や問題点は挙がっていない。個に応じた丁寧な支援でありたいという声が多い。 |
| | ③ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | ホームページに公開している。 |
| | ④ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | ○ | 外部評価を実施していない。 第三者委員会は立ち上げてある。 |
| | ⑤ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | オンライン研修を含め外部研修に積極的に参加するようにしている。 |
| 適切な 支援の 提供 | ① | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 毎日の記録を分析し話し合い、支援計画を作成している。 |
| | ② | 子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | | 自発管が提示し、話し合っている。 |
| | ③ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | |
| | ④ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | 職員間で話し合いをして、季節に合わせた行事、おやつ、お楽しみ会など工夫している。 |
| | ⑤ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか | ○ | | | 月1回の職員会議で話し合いを持っている。 |
| | ⑥ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 室内遊び一屋外での遊び一全体での読み聞かせを長時間で実施 短時間でも集団での会や遊びを計画し子ども同士の関わりが育つよう支援している |
| | ⑦ | 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | 日々変わる子供たちの状況に臨機応変に対応するよう、情報交換・情報伝達を心掛けている |
| | ⑧ | 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点等共有しているか | ○ | | | 毎日記録を取りながら子どもの表れを話し合い支援を振り返っている |
| | ⑨ | 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | めあてに沿って支援し、記録をするような支援記録簿になっている。 |
| | ⑩ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | |
| | ⑪ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか | ○ | | | |
| 関係 機関 や 保護 者 と | ① | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか | ○ | | | 児発管が欠かさず参加している。 |
| | ② | 学校との情報共有(年間計画、行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | ○ | | | 必要な子については学校と連絡しあったり、アドバイスをもらったりしている。 学校公開日があり参観し、学校側の話を聞くこともできた学校からのメールの確認をしている。 |
| | ③ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | | ○ | 常時ケアの必要な子はいない。持病のある子について書面で主治医・保護者との連絡体制は確認している。 |
| | ④ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認可子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | ○ | | | 担当者会議でこども園での情報をきくことができる。 |
| | ⑤ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | | | ○ | 要求があれば提供する用意がある(相談支援事業所を介することもある) |

| | | | | | |
|------------|---|--|---|---|--|
| この連携 | ⑥ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | 支援センターきらりの主催するオンライン研修を全職員で受講した。今後も利用していく。 |
| | ⑦ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | ○ | | 長期休業中は児童館や交流センターなど利用している。近所の子供と一緒に遊ぶ時がある。 |
| | ⑧ | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | | ○ | 連絡協議会には参加している。 |
| | ⑨ | 日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | お迎えの保護者、送迎で家で待つ保護者に対し、その日の活動の写真を用意して子どもの様子を伝えている。わかりやすく喜ばれている。 |
| | ⑩ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか | | ○ | 個別に相談があったときは実施 |
| 保護者への説明責任等 | ① | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | 入会時に説明している。 |
| | ② | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | 相談があれば実施 普段から悩みはよく聞くようにしている。 |
| | ③ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | ○ | 必要がないという保護者が多い |
| | ④ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | 「意見箱」を設置してある。 苦情担当責任者を置き苦情対応マニュアルを作成してある。 |
| | ⑤ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | 毎日の活動予定を保護者に配布している。子どもたちの活動の写真を玄関に掲示。写真と言葉で伝えている。 |
| | ⑥ | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | |
| | ⑦ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | お迎えの時その日の出来事を伝達。手段が必要な子とはサイン・文字・絵カードや写真カードを使って会話 |
| | ⑧ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | ○ | | 近隣の方は子どもの遊び声も疎まず、温かく見守ってくれている。計画すれば訓練にも参加してくれる。 |
| 非常時等の対応 | ① | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ | | 緊急時対応マニュアルは保護者に配布済み。 |
| | ② | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | 年1回は必ず実施 防災センターでの体験や避難についての情報を得ることもやっている。 |
| | ③ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか | ○ | | 虐待防止マネージャーを中心に全職員で研修をしている。虐待防止委員会も実施している。 |
| | ④ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で放課後等デイサービス計画に記載しているか | ○ | | 身体拘束の該当者はいない。 |
| | ⑤ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | 現在該当者はいない |
| | ⑥ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | 随時ヒヤリハットの記入をするようにしている。そして職員研修で取り上げ、お互いの注意喚起を図っている。 |

※全職員で話し合いまとめたものである